

各位



## 兼松、イタリア M-Pix Laser Solutions 社の 産業用コンパクトレーザーマーカを日本で販売開始

兼松株式会社（以下、「兼松」）は、イタリアのレーザー機器メーカー M-Pix Laser Solutions（以下、「M-Pix」）が開発・製造する産業用コンパクトレーザーマーカの日本における取り扱いを開始しました。

M-Pix の IR ファイバーレーザーは、1,064nm 帯の赤外線を用いることでステンレスやアルミなどの金属はもちろん、一部の樹脂素材にも高コントラストなマーキングが可能です。また、最軽量モデルのレーザーマーキングユニット（MPK）は重量 4.5kg と、小型・軽量である点も特長です。それらの特性から、微細さと識別性が求められる医療用プレパラートへの管理番号の印字など、特に医療用検査器具への印字する機械への組み込み用途を中心に、幅広い産業分野での活用が期待されています。



4.5kg のレーザーマーキングユニット最軽量モデル「MPK」

レーザーマーキングは、製品への識別表示やトレーサビリティ確保を目的として、医療・医薬品、電子部品、自動車部品、工業製品など幅広い分野で活用されています。インクやラベルを使用せず、非接触で高精度な印字が可能なることから、衛生面や品質管理が求められる現場において活用されており、私たちの生活を支える重要な技術の一つとなっています。

M-Pix は、産業用コンパクトレーザーマーカの開発・製造を手がけており、主に半導体レーザー、ファイバーレーザーを中心とした製品群を展開しています。2015 年の設立以来、世界市場に 6,000 台以上のレーザーマーキングユニットを供給した実績を持ちます。製品は小型・軽量で装置への組み込みやすさに優れているほか、操作性に配慮したソフトウェア設計を特徴としており、医療分野向けアプリケーション開発にも適した設計基盤を備えています。

兼松は日本市場において、M-Pix 製品の一連のラインアップの販売に加え、OEM による受託開発も推進します。今回の協業の契機は、兼松が 2024 年に、自社ブランドの ID カード印刷用レーザープリンタ「[Swiftlaser® SLD100](#)」の開発を M-Pix へ委託したことであり、同社は内部レーザーユニットの供給に加え、外装である筐体きょうたいの製造も担った実績を持ちます。当時、欧州・南米の ID 市場において高まっていた小型化・軽量化の需要に対応すべく、M-Pix との協業に至りました。



Swiftlaser® SLD100

兼松は、30 年以上携わってきたプリンタ事業に関連する産業向け印字・識別ソリューションの知見を活かし、主に医療用検査器具へ印字する機械への組み込み用途を中心に、需要が高まる日本市場のレーザーマーキングニーズに対応して参ります。

以上

【M-Pix 会社概要】

商号	M-Pix Laser Solutions
設立	2015年
代表	Lucio Francisco
所在地	イタリア共和国 ヴァレーゼ県 セスト・カレンデ ヴィア・オネダ 11番地
事業内容	産業用コンパクトレーザーマーカの開発・製造
ウェブサイト	<a href="#">Laser marking systems   Industrial laser markers   M-Pix</a>

【お問い合わせ先】

兼松株式会社 広報室

電話：03-6747-5000

<https://www.kanematsu.co.jp/inquiry/>